

2025 年 SF 回顧資料（国内 SF 出版リスト）

（提供・香月祥宏氏）

※香月（SF マガジン国内 SF レビュー欄担当）が、原稿執筆の前段階で“取り上げる可能性がある”として編集部へ提出したリストが元になっています。

※あくまでも打ち合わせ用です。網羅的・厳密なリストを意図したものではないので、誤字脱字等細かいチェックはしていません。参考としてご覧ください。

※香月が実際に SF マガジンで紹介したものだけでなく、結果的に他の欄（ライトノベル、ファンタジイ、ホラーなど）で扱われたもの、誌面では取り上げられなかったもの等も含まれます。

※日付はネットで確認できる発売日の場合と奥付の場合があります。

※2025 年の国内 SF を振り返る上での重要性に基づいて、ざっと記号を振ってみました。必ずしも作品の評価とは直結しません。

★……2025 年国内 SF の重要作

●……★に次ぐ注目作

▲……SF 読者にもおすすめの境界作

1 月	・麻根重次『千年のフーダニット』（講談社）1/16
	●小川一水『ツインスター・サイクロン・ランナウェイ 4』（ハヤカワ文庫 JA）1/22
	・小森陽一『ツイン・アース』（集英社文庫）1/21
	・伊坂幸太郎『楽園の楽園』（中央公論新社）1/22
	・上田未来『妻が夫を完全犯罪で殺す方法（あるいはその逆）』（双葉社）1/22
	★犬怪寅日子『羊式型人間模擬機』（早川書房）1/22
	★カスガ『コミケへの聖歌』（早川書房）1/22
	・幸村百理男『東大理三の悪魔』（宝島社）1/28
	▲奥泉光『虚傳集』（講談社）1/30
	★山本弘『時の果てのフェブラリー ―赤方偏移世界―』（創元 SF 文庫）1/31
2 月	・松下龍之介『一次元の挿し木』（宝島社文庫）2/5
	▲榎本憲男『アガラ』（朝日新聞出版）2/7
	▲南海遊『バンドラブレイン 亜魂島殺人（格）事件』（星海社）2/18
	★カリベウウキ『マイ・ゴーストリー・フレンド』（早川書房）2/19
	★神林長平『インサイト 戦闘妖精・雪風』（早川書房）2/19
	・斉藤詠一『俺が恋した千年少女』（双葉社）2/19
	▲松城明『探偵機械エキシマ』（KADOKAWA）2/21
	・平岡陽明『マイ・グレート・ファーザー』（文藝春秋）2/21
	・須藤アンナ『グッナイ・ナタリー・クローバー』（集英社）2/26
	▲荻原浩『我らが緑の大地』（KADOKAWA）2/27
	★林譲治『惑星カザンの桜』（創元 SF 文庫）2/28
	★『星に届ける物語 日経「星新一賞」受賞作品集』（新潮文庫）2/28

3 月	・沓岐津礼『暗夜にぞ輝けり〜暗黒星奇譚』（アトリエサード）2/28
	・公社『旗本改革男』（KADOKAWA）3/3
	★村田沙耶香『世界 99』（集英社）3/5
	・東雅夫編『怪獣談』（平凡社）3/7
	・はじめアキラ『テンセイゲーム』（竹書房）3/8
	・井戸川射子『移動そのもの』（筑摩書房）3/11
	・野島夕照『片翼のイカロス』（光文社）3/12
	▲葉山透『アイギス』（ポプラ社）3/12
	・青柳碧人『オール電化・雨月物語』（PHP 研究所）3/13
	・阿泉来堂『骸ノ時計』（産業編集センター）3/13
	▲三崎亜記『みしらぬ国戦争』（KADOKAWA）3/17
	・宮澤伊織『裏世界ピクニック 10 あり得るすべての怪談』（ハヤカワ文庫 JA）3/19
	▲二礼樹『リストランテ・ヴァンピーリ』（新潮社）3/19
	★人間六度『烙印の名はヒト』（早川書房）3/19
	★赤野工作『遊戯と臨界 赤野工作ゲーム SF 化作選』（創元日本 SF 叢書）3/21
	・千街晶之編『Wi-Fi 幽霊 乙一・山白朝子 ホラー傑作選』（角川ホラー文庫）3/22
	・柴田勝家『秘曲金色姫』（中央公論新社）3/24
	▲鈴木光司『ユビキタス』（KADOKAWA）3/26
	・春海水亭『入居者全滅事故物件』（KADOKAWA）3/28
	・饗庭淵『対怪異アンドロイド開発研究室 2.0』（KADOKAWA）3/28
4 月	・須藤古都離『ゾンビがいた季節』（講談社）4/16
	★天沢時生『すべての原付の光』（早川書房）4/23
	★上田早夕里『成層圏の墓標』（光文社）4/23

	●『SF ごはんアンソロジー すばらしき新式食』（集英社オレ ンジ文庫）4/17
	・金子薫『愛の獣は光の海で溺れ死ぬ』（河出書房新社）4/17
	・乙野四方字『リライト〔映画ノベライズ〕』（ハヤカワ文庫 JA）4/23
	・福田和代『ヴァンパイア・シュテン』（光文社）4/23
	●冲方丁『ムーンライズ1〜3』（TO 文庫）4/25
	★森下一仁『エルギスキへの旅』（ブターク書房）4/25
	・下村智恵理『天網恢々アルケミー 前崎中央高校科学部の 事件ファイル』（創元推理文庫）4/28
	・中原昌也『焼死体たちの革命の夜』（河出書房新社）4/30
	▲藍銅ツバメ『馬鹿化かし』（集英社）5/9
	・最果タヒ『恋の収穫期』（小学館）5/14
5 月	・万城目学『あの子とO』（新潮社）5/15
	・『小説集 筋肉少女帯小説化計画』（KADOKAWA）5/16
	・最果タヒ『恋の収穫期』（小学館）5/19
	・夢枕獏『キマイラ聖獣変』（ソノラマノベルス）5/20
	▲実石沙枝子『扇谷家の不思議な家じまい』（双葉社）5/21
	・冲方丁『マルドゥック・アノニマス10』（ハヤカワ文庫 JA）5/22
	・小塚原句『心臓』（早川書房）5/22
	・柘植由紀美『街と相良さんの四季』（鳥影社）5/23
	・藤原雅人『盗まれる指先』（東奥日報社）5/23
	●海猫沢めろん『ディスクロニアの鳩時計』（泡影社）5/27
	・浅倉卓弥『桜待つ、あの本屋で』（ハーパーコリンズ・ジャ パン）5/28
	・五条紀夫『町内会死者蘇生事件』（新潮文庫）5/28
	・あさのあつこ『NO.6 再会#1』（講談社）5/28
	・海野十三『地球盗難』（春陽文庫）5/28
	▲十三不塔『13 十三不塔作品集』（anon press）5/28
	★円城塔『去年、本能寺で』（新潮社）5/29
	・阿部智里『皇后の碧』（新潮社）5/29
	▲木内昇『奇のくに風土記』（実業之日本社）5/29
	●新馬場新『歌はそこに遺された』（徳間書店）5/31
6 月	・佐川恭一『人間的教育』（太田出版）6/3
	●法条遥『ノンブル・シャッフル』（ハヤカワ文庫JA）6/5

	・石井遊佳『ティータイム』（集英社）6/5
	・堂場瞬一『ポピュリズム』（集英社）6/5
	・青海野灰『君がいた夏、僕だけのヒーロー』（実業之日本社 文庫）6/6
	・山上たつひこ『金鳳花のフール』（フリースタイル）6/10
	・明里桜良『ひらりと天狗 ―神棲まう里の物語―』（新潮 社）6/18
	●新名智『靈感インテグレーション』（新潮社）6/18
	★高野史緒『アンスピリチュアル』（早川書房）6/25
	・藤谷治『エリック・サティの小劇場』（光文社）6/25
	・緒乃ワサビ『記憶の鍵盤』（新潮文庫 nex）6/25
	▲中西智佐乃『橘の家』（新潮社）6/26
	・上田岳弘『関係のないこと』（新潮社）6/26
	●柴崎友香『帰れない探偵』（講談社）6/26
	●中野伶理『那由多の面』（ゲンロン SF 文庫）6/27
	●大庭繭『うたたねのように光って思い出は指先だけが覚え てる熱』（ゲンロン SF 文庫）6/27
	▲高田漣『街の彼方の空遠く』（河出書房新社）6/27
7 月	★灰谷魚『レモネードに彗星』（KADOKAWA）7/1
	・安達寛高編『沈みかけの船より、愛をこめて』（朝日文庫） 7/7
	・喜多喜久『全能のカミナ』（パーパーBOOKS+）7/15
	●宮澤伊織『ウは宇宙ヤバイのウ! 2 天の光はすべて詐欺』 （ハヤカワ文庫JA）7/16
	・荒山徹『更科忍法帖』（早川書房）7/16
	・日比野コレコ『たえまない光の足し算』（文藝春秋）7/17
	▲彩藤アザミ『正しい世界の壊しかた―最果ての果ての殺人 ―』（新潮社）7/22
	▲東山彰良『三毒狩り（上・下）』（毎日新聞出版）7/22
	・後谷戸隆『友達がタイムマシンを作ったので』 （KADOKAWA）7/24
	・小池昌代『Cloud on the 空き家』（講談社）7/24
	・浜口倫太郎『天空遊園地まほろば』（ポプラ社）7/24
	・駒田隼也『鳥の夢の場合』（講談社）7/24
	・樺一志『レゾンデートルの結び』（メディアワークス文庫） 7/25
	●伊与原新『翠雨の人』（新潮社）7/30
	●荒巻義雄『聖シスコ電説』（小鳥遊書房）7/31

8月	・多未宿紅葉『少女、落下中』（主婦と生活社）8/1
	・恩田陸『酒亭 DARKNESS』（文藝春秋）8/7
	・三浦晴海『なぜ「あしか汁」のことを話してはいけないのか』（宝島社）8/7
	・藤崎翔『冥土レンタルサービス』（祥伝社文庫）8/8
	・蒼月海里『星空都市リンネの旅路』（マイナビ出版）8/20
	▲岡崎琢磨『HIPS 機械仕掛けの箱舟』（光文社）8/20
	・新馬場新『部屋には葦が生えている』（双葉社）8/20
	・新川帆立『魔法学校校の麗人執事1 ウェルカム・トゥー・マジックローアカデミー』（幻冬舎）8/20
	★笹原千波『風になるにはまだ』（創元日本 SF 叢書）8/21
	・灯野リュウ『渋谷神域』（KADOKAWA）8/21
9月	●河野裕『さよならの言い方なんて知らない。10』（新潮文庫 nex）8/28
	●『鏡の国の生き物をつくる SF で踏み出す鏡像生命学の世界』8/31（Kaguya Books）
	・あさのあつこ『NO.6 再会#2』（講談社）9/3
	●「幻想と怪奇」編集室編『幻想と怪奇 幻影の街 ショートショート・カーニヴァル』（新紀元社）9/5
	・夢枕獏『陰態の家 夢枕獏超越的物語集』（文藝春秋）9/10
	・彩藤アザミ『読むと死ぬ本』（講談社）9/10
	・阿泉来堂『冥船ステラ・ブルー』（産業編集センター）9/16
	★日本 SF 作家クラブ編『恐怖と SF』（ハヤカワ文庫 JA）9/18
	★伴名練『百年文通』（早川書房）9/18
	▲彩瀬まる『みちゆくひと』（講談社）9/26
10月	▲谷崎由依『百日と無限の夜』（集英社）9/26
	・雪舟えま『凍土二人行黒スープ付き [増補改訂版]』（創元文芸文庫）9/27
	・石川博品『アフリカン・ヴェドゥー・ジュージュツ』（KADOKAWA）9/29
	・夕鷺かのう『スイッチ・ライフ』（朝日新聞出版）10/7
	・綾崎隼『雨のやまない世界で君は』（朝日新聞出版）10/7
	●岩井圭也『真珠配列』（早川書房）10/8
	●乾緑郎『私たちに残されたわずかな永遠』（祥伝社）10/10
	▲高田大介『図書館の魔女 震える塔』（講談社）10/16
	★小川哲『火星の女王』（早川書房）10/22
	▲伊坂幸太郎『さよならジャバウォック』（双葉社）10/22
	▲呉勝浩『アトミック・ブレイバー』（光文社）10/22
	●恒川光太郎『ジャガー・ワールド』（講談社）10/22

	・池谷和浩『四季と機器』（よはく舎）10/27
	●市川憂人『もつれ星は最果ての夢を見る』（PHP 研究所）10/28
	・山田彩人『千年ゲーム』（南雲堂）10/29
	・いしいしんじ『チェロ湖』（新潮社）10/30
	★宮澤伊織『ときときチャンネル ない天気1 つくってみた』（創元日本 SF 叢書）10/31
11月	●一穂ミチ『きょうの日はさようなら 完全版』（文春文庫）11/5
	・ISHIYA『BRUO / ノイズ』（blueprint）11/5
	●吉田親司『第二警察』（ハヤカワ文庫 JA）11/19
	●山本弘『輝きの七日間』（河出文庫）11/6
	・高野和明『犯人と二人きり』（文藝春秋）11/12
	・風森章羽『あの日、僕たちが死んだ理由』（講談社）11/12
	▲村崎なつ生『ハルシネーションの庭』（集英社オレンジ文庫）11/19
	・佐野晶『侍タイムスリッパ』（KADOKAWA）11/20
	▲飯野文彦『眼球の見る夢と現と』（SF ユースティティア）11/22
	★西島伝法『無常商店街』（創元日本 SF 叢書）11/28
12月	・伊福部崇『タイム アフター レコーディング』（KADOKAWA）11/29
	★関元聡『摂氏千度、五万気圧』（早川書房）12/3
	●辻村七子『博士とマリア』（ハヤカワ文庫 JA）12/3
	・五条紀夫『流血マルチバース』（双葉文庫）12/10
	▲佐々木譲『分裂蜂起』（集英社）12/15
	・暁社夕帆『ゾア』（講談社）12/17
	●樋口恭介『何もかも理想とかけ離れていた』（双葉社）12/17
	・蒼月海里『百槍のオラシオン』（KADOKAWA）12/24
	★斧田小夜『では人類、ごきげんよう』（創元日本 SF 叢書）12/25
	・山田幸彦『龍が泳ぐは星の海』（ポーンデジタル）12/26